

令和2年度 北海道稚内養護学校 第2回学校運営協議会記録

1 日 時 令和3年3月2日（火） 10:00～12:05

2 場 所 北海道稚内養護学校 会議室

3 式次第

（1） 開会

・会長挨拶

（2） 辞令交付

（3） 令和2年度学校評価集計結果について

・（教頭より）説明、質疑

（4） 新年度学校経営方針について

・（資料）グラントデザイン参照

・（学校長より）説明、質疑

（5） 熟議

・学校評価、グラントデザインを受けて、子ども達にへ何ができるか等

・感想や意見交流等

（6） 閉会

4 協議内容（各委員から主な意見）

（3）より

○専門性とは。

*発達段階が個々に異なる特別支援学校では、学びの蓄積の仕方が異なり、教科書もそれぞれ違う。日常生活の内容を含め、何を学び、身に付けていくかを見極め、保護者と相談・連携して進めていかなければならない。

*20年来養護学校とかかわってきているが、障がいの特化していた頃に比べ、個々の実態に合わせて授業改善が為されている。そういったことを含め、専門性が求められていると理解している。

（4）より

*目指す学校像へ向かうために力が学校力であり、学んでいく過程を大事にしたい。

*今の時代に即した内容になっている。また、キーワードというのが現代的で非常に良い。

（5）より

*ICTを活用した疑似体験を通して、学習や余暇へつなげる。その上での通信環境の課題、専門性の課題。

*ICTが進むと人と人とのつながりが薄くなる。人と人とのつながりが何よりも大切。

- * 行政、障がい福祉サービス事業所、学校との交流
 - * 情報発信としてメディアの活用（動画を使った学校便り、生の声を届ける FM わっぴ〜の活用）
 - * 研修の在り方や、外部情報をいかにどう校内に伝えるか。
 - * 特別支援の先をいく本校には、ICT の活用方法など広く伝えてほしい。
 - * 保護者による PTA 評価は高いが、教職員は低い。謙虚になり過ぎではないか。自信をもってやってほしい。
 - * 本校児童生徒に、小中学校や高等学校の授業や様子を見せたい。
- 以上のことを参考に、検討していく。